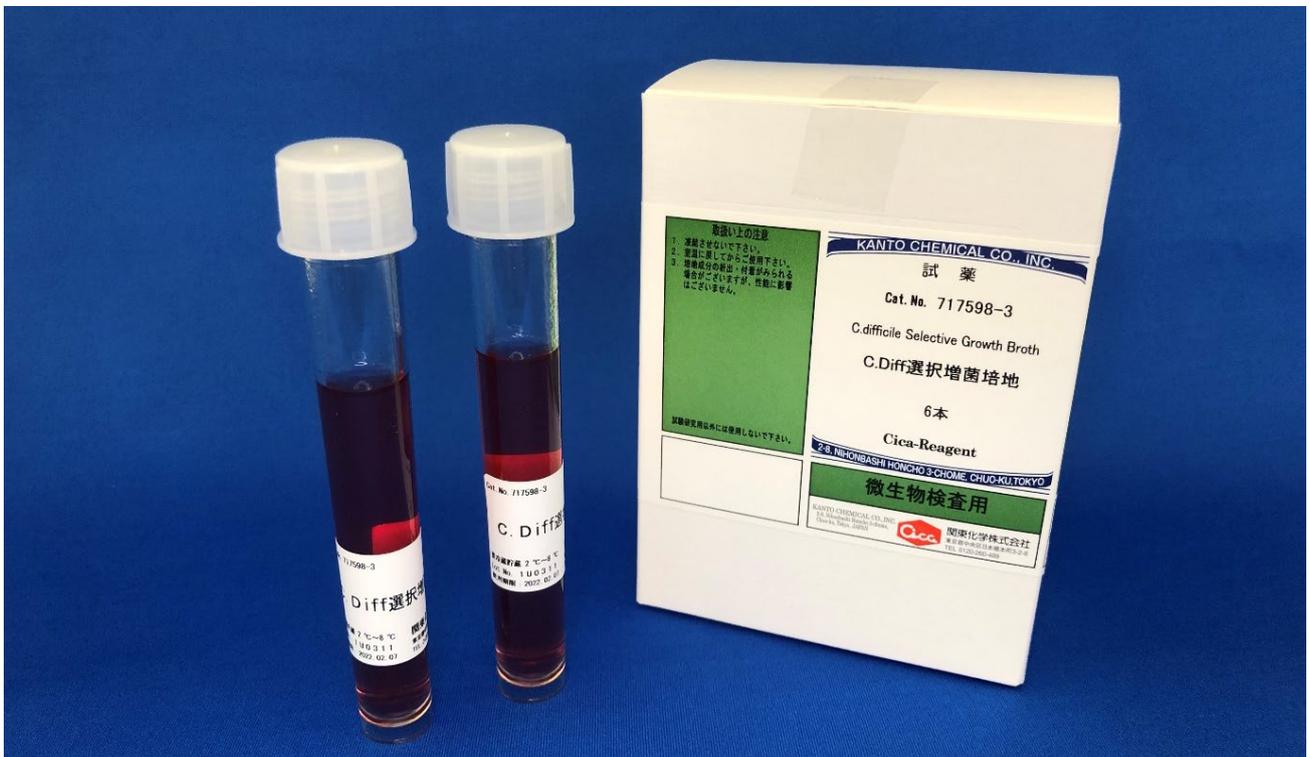


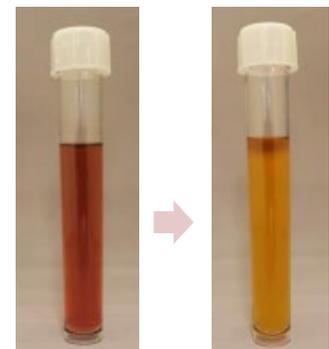
C.Diff選択増菌培地

Clinical Microbial Inspection Products



製品特長

- 自立試験管を用いているため作業が容易です
- 色調の変化で陽性判定がおこなえます
- 培養に嫌気装置や嫌気試薬を必要としない為、限られた検査環境でも培養試験がおこなえます
- イムノクロマト法(X/PectトキシンA/B)に培養液を直接用いることができます



培養前

培養後

使用方法

1. 検体(水様便)を本製品に 0.1mL添加
※ 固形便の場合、PBSで 50倍希釈したものをお使いください
2. 蓋を閉めて、ボルテックスミキサー等で攪拌
3. 37°C, 24-48時間 **好気条件下**で培養
4. 培地色調の黄変が確認された場合、“培養陽性”として判定
※ 陰性判定は、48時間培養後におこなってください
※※ トキシン量を増やすため 48~72時間培養液の使用を推奨します

Clostridioides difficile (*C.difficile*) 感染症に対する診療ガイドラインが、2020年に公表されています。

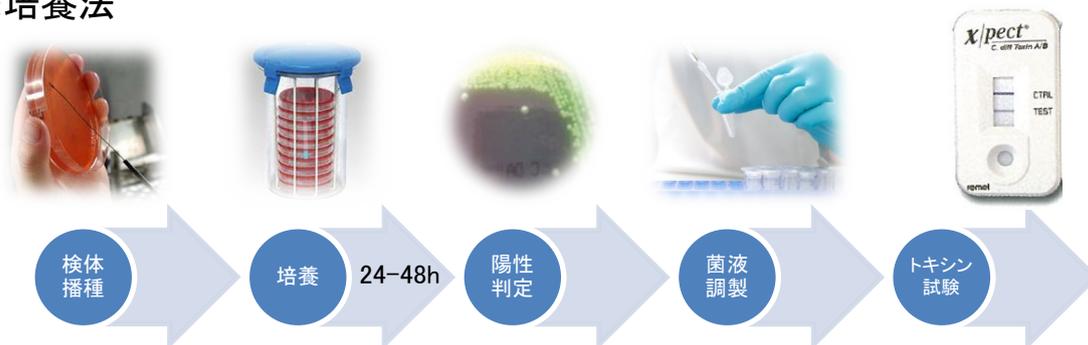
この中で、迅速診断キットを用いてGDH陽性／トキシン陰性と判定された場合、遺伝子 (NAAT) 検査をおこなうことが推奨されています。

GDH抗原検査やトキシン検査は高い検査精度が報告されていますが、いずれの検査も偽陽性・偽陰性がありうることを注意する必要があります。

培養検査は時間を要するものの菌株の詳細な解析がおこなえることから、NAAT検査と併せて、アウトブレイク時や保菌者を含めた広範囲な発生状況・疫学検査をおこなう際には積極的に検査を実施することが推奨されています。

従来の培養検査法との違い

従来培養法



本製品



製品リスト

製品名	包装	製造後使用期限	保管温度	製品番号
C.Diff選択増菌培地	6回分	4ヶ月	2～8℃	717598-3

製品名	包装	製造後使用期限	保管温度	製品番号
分離培地				
C.Diff選択分離生培地	1枚×10包	4ヶ月	2～8℃	717598-1
簡易迅速検査				
X/Pect トキシンA/B	20回分	12ヶ月	2～8℃	71929-00
遺伝子検査				
シカジーニアス® 毒素遺伝子検出キット (C.difficile用)	30回分	24ヶ月	-20～-25℃	08115-96
シカジーニアス® 分子疫学解析POTキット (C.ディフィシル用)	30回分	24ヶ月	-20～-25℃	08106-97

- 本記載の製品は、試薬 (試験、研究用として用いる化学薬品) としての用途にご利用ください。
- 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。

Cica 関東化学株式会社
試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
TEL : 03-6214-1090
HP : <https://www.kanto.co.jp>